

松保地区 地域づくり懇談会 議事録

1 日 時 平成24年8月28日(火) 19:00~20:35

2 会 場 松保地区公民館

3 出席者 地元出席者 46名
市側出席者 16名

竹内市長、深澤副市長、中川教育長、羽場総務部長、松下企画推進部長、堀防災調整監、山根農林水産部長、大島都市整備部長、谷口環境下水道部長、藤井都市整備部次長、山本環境下水道部次長、富山危機管理課参事、尾室企画推進部次長

<事務局>安本協働推進課長(司会)、谷村協働推進課主任、近藤協働推進課主事

4 「地域防災計画の見直し」について

スクリーンに基づき説明(危機管理課参事)

5 「協働のまちづくり」についての報告

(松保地区公民館長)

私たちのまちづくり協議会では、一応、6つの専門部会に分けておりまして、その中にそれぞれの各団体が入っています。それを順番に説明して、事業の内容を報告させていただきたいと思います。

まず、生活安全部です。これには交通安全松保支部と消防団松保分団、それと自治防災会の3団体が属し、地域の安全安心・災害に強いまちづくりを目標に交通安全指導や児童の通学時の安全確保、それから、消防団は火災予防の啓発活動や火災訓練の実施などをやっています。また、自治防災会としましては毎年防災フェスタを開催し、湖山消防署等の指導の下に初期消火及び煙の中の避難訓練、災害時の炊き出しなどの実践活動を行っています。これは地区の人口から言えば、いまだ1割足らずという参加者ですので、もう少し参加者を増やしていきたいというのが今の状況です。

次に福祉部です。この部には民生児童協議会、共生会、社会福祉協議会が属しています。住みよい地域づくりの推進を図るために活動しており、民生児童委員は毎月定例会を開催し、意見交換や研修会への参加、児童への多彩な教室を開催しています。また、詐欺やそれらに属するようなチラシに注意するよう喚起して地区住民へ啓発チラシを配布しています。共生会の方々は地区の公共施設、例えば地区公民館及び地区体育館などの奉仕作業、清掃奉仕作業や交通安全講習会、親睦会など幅広く事業を行っておられます。それで、当初会員100人を目指して進められ、いろいろ参加を呼びかけられまして、昨年やっと100人を超える会員を獲得されました。これを続けていきたいということで、今頑張っておられます。

それから、社会福祉協議会は、地区の一番メインとなる高齢者に対する福祉に属するものに該当してきます。事業としては、配食サービス、各年における敬老会の開催、それか

ら毎年春に戦没者の慰霊祭などを開催しています。他にも湖山池一周ウォーキング、青島ウォーキングなども休日に計画どおり行っています。また、今年度要援護者名簿を集落ごとに取りまとめましたが、個人情報に関わるものがあるので、住民の方々が困惑されて、対象者の中には載せられないという方もあるようです。できれば行政指導の下で行っていただければ助かるんじゃないかなと思っています。

次に総務広報部です。この部は地区の区長協議会のみで構成して実施しています。松保地域づくり協議会の中心部として各集落のまとめ的位置として活躍されています。この協議会において毎年夏季研修、他地区や先進地の視察などを行い、よりよい事例などがあれば、それを参考に地元の産業振興や各集落の維持及び今後の活性化に努めてまいりたいと思っています。課題として、現在視察研修を行っていますが、まずは松保地区のよいところ、悪いところを把握して、これらを活かしてどのような状況にやっていくかをまず考えたのちに、そういう視察を行った方がいいんじゃないかというような感じを持ってもらえるようです。

次に育成部です。この部は子ども育成協議会のみで活動しています。事業は子どもを対象にした活動で、市外でのキャンプ1泊体験、それからキッズと大人のふれあい活動、これは、湖山池の青島を一周するような形で大人とのふれあい作業をやっていきます。ただ、時期的なものがありまして、小学生さんの夏休みを中心にやろうかなという計画でやっていきますが、去年もですが今年も特に夏休み中は暑いので、子どもさんの参加率がすごく低いと。やっぱり暑いときは参加率が下がるのかなというのがちょっと懸念されているところですね。

次が体育部です。これには体育部と健康づくり推進員協議会で構成しています。この部の大きな事業としては、松保地区の全集落が参加するふれあい運動会というものがあります。だいたい稲の収穫時期が終わった頃を見計らってやりますが、この細長い松保地区で全集落が済むまで待てば冬に近いようなところもあって、全部が一度に参加できる状況はないんですが、区長さんなりをお願いしてなんとか集まっていたいただいてやっています。今年から緑化フェアの関係で、お花畑ゾーンが改修工事に入っておられます。いつもはあそこを使用させていただいておりますが、今年と来年はちょっと無理だと思いますので、今年度につきましては世紀小学校の校庭で実施しようということで今計画しています。これには全集落の方々が全部参加しますので、ふれあいを充実したものにしたいと思っています。

次に生涯学習部です。この部には公民館と公民館の人権啓発推進協議会で構成した2つの団体が属しています。まず、公民館の事業として、毎年年度末に学習発表会を開催しています。これは各集落内及び公民館のサークル活動で、この1年に学習された成果の発表を皆さんに参観していただき、楽しい一日を過ごしたいなということで、一昨年からやっています。今年度は来年の3月になりますので、去年ですと出演者が6団体54名、参観者を含めるとざっと70名ということで、出演者より参観者の方がちょっと少ないなど。こういうものを発表するときには、やっぱり観ていただく人が多い方が張り合いがあるんじゃないかと思っています。人権啓発推進協議会では毎年市の人権推進課からお二人を招いて、協力を得ながら小地域座談会を開催しています。これは田植えが済んだ6月中旬頃から7月中旬にかけて実施し、今年も無事終了いたしました。参加者が186名で、去年

よりは1人増えましたが、なかなか参加者が増えないということで、どうして参加者を増やしていくかが、今課題になっています。以上が地域づくりでやっています事業についての報告です。

6 地域の課題についての市長等との意見交換

1 地区公民館の抜本的整備について

<地域課題>

本地区は、東西4kmに延びる街村的特性を持つ、およそ1,400世帯、人口4,300人（平成23年国勢調査）が暮らす地区であるが、「地域づくり」の拠点となっている地区公民館は、歪で狭い土地に建設された規模の小さい建物で、広い集会室でも70名収容が限度、しかも和室（畳）だけで洋室（椅子）がなく、座姿勢から足・腰に負担がかかることから、中高齢者から、長時間の集会に耐えられないとの不平・不満が頂点に達している。

改築の必要性については、平成19年頃より訴え続けているが、いまだ展望の見えない現状にある。

「地域自治の活性化」や「協働のまちづくりの推進」が求められているなか、住民主体の活動が制限されることに不信感を覚えるところである。地区住民の熱望に沿った改善策を要望する。

<担当部局の所見等>

【企画推進部】

松保地区公民館の大会議室につきましては、他の60の地区公民館とのバランスを考えると、さらに多くの人数を収容できる研修室に増築することはできない状況です。

しかし、公民館の設備等の整備については、地域の要望に対応し、改善に努めています。

また、地区公民館は災害時の避難所となっており、松保地区公民館も含め現在、22の地区公民館の耐震診断を実施中です。耐震診断結果が判明次第、改築、改修を含めた対応方針を策定していきます。耐震改築、改修時には、利用者の負担を軽減するため和室のフローリング化（洋室化）やトイレの男女別化などを併せて検討します。

（企画推進部長）

当地区の皆さまには、日頃からこの地区公民館を生涯学習や地域コミュニティの拠点として活発にご利用いただきまして大変ありがとうございます。また、公民館を大切に利用していただいております。本当に感謝申し上げます。

この地区公民館は、昭和55年の建築です。築32年ということで市内の地区公民館の中では19番目に古いということです。地域づくり懇談会に出ますと、全市的にやはり地区公民館の要望というのは大変多くあります。その中でなんとか気持ちよく利用していただけるように、昨年ですと僅かですが、前庭の整備や畳の表替え、会議用テーブルの購入など、出来る限り地域の要望に沿うように対応して、施設の改善等に努めているところです。

現在、鳥取市全体の大きな課題といたしまして、東日本大震災を受けまして、避難場所

にもなりますので、現在、地区公民館全市で22の公民館の耐震診断を実施中です。この地区公民館もその対象になっており、この耐震診断の結果が来年の3月末までには出てまいります。

今後その整備については、耐震診断結果を基に、耐震補強工事等を最優先として計画していくこととなります。この松保地区公民館につきましては、ご要望もいただいておりますように洋室がなく、和室ばかりで中高齢の方の足腰に負担がかかったりというようなこともありますので、その整備の時に、一階はフローリングか洋室にするとか、トイレの男女別化なども急がれると思います。また、その他必要な、例えば避難階段の修繕についても合わせて検討させていただきたいと考えています。その際には、また地域の方々ともご相談させていただくこととなりますので、どうかご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

(地元意見)

公民館の耐震診断の結果次第となっておりますが、これは仮に耐震結果が、例えばセーフだった場合は、説明された改築や改修はしないということになるんですか。

(企画推進部長)

結果が出るまでは何とも言えませんが、恐らく何らかの措置をしないとイケないことになるんじゃないかと思っています。それとは別に、もしも手を加えるところが非常に少ないという場合でも、例えばトイレの男女別化や、高齢者の方のための洋式化は順次取りかからせていただこうと思っていますので、ご安心いただけたらと思います。

(地元意見)

ご存じのように、松保地区はかなりの戸数、人口を抱えています。震災が起きると当然ここを防災センターにしなから、いろんなことに取組んでいくことになると思うので、やっぱり早くここを何とかしてもらいたいと思います。それと同時に、ある一定の数がいろんなことをしていこうと思えば、駐車場がありませんので、防災センターのような状態にならないというのを心配しているんです。最低でもそういうことも条件に含めたことがしてほしいということです。公民館と体育館の地域の基本的な考え方としては、どこか広いところに移していただいて、地域の安全安心のセンター的な役割を果たすような公民館や体育館であってほしいという面で強い思いを持っています。できるだけ早く、耐震も含めて実施することが必要じゃないかと思っていますので、特に申し上げておきます。トイレも男女共同で使っていますので、早急に改善しないと、いざとなったら大変な状態が起きるということを想定して取組んでいただきたいと思います。

(竹内市長)

公民館の点は充分承りました。耐震診断結果も受けて具体的な対応方針も立てたいと思います。実際に避難する場所としては、確かに人口規模などを勘案すれば、この公民館あるいはその他の地域でも、施設でも充分には足りないと思いますが、布勢の諸施設のような新しい施設もあります。大きな災害で、たくさんの方が避難される場合には、公民館だ

けではなくて、県民体育館を始めいろんな施設を使ったりして、身近な施設も活用していただくことを念頭においていただけたらと思います。なお、弓道場の施設に消防団の車庫も移設して新設するというので、防災体制にも地域の皆さんと相談しながら知恵を絞っているという状況です。そうしたことを含めて、これからも防災体制、地域の皆さんのご協力を得ながらしっかり進めていきたいと思っています。

2 松保体育館の設備改善について

<地域課題>

過去、再三にわたって要望してきたが、何ら改善策が講じられず、未解決のまま現在に至っている。

- ①陰湿で歪な土地にある施設周辺は、潜在危険（自動車被害や不審者被害・害虫による被害）が多いことから、歩道等側道からの侵入防止策や道路駐車禁止標識、街路灯の設置、害虫（蜂）防止網戸の設置等対策が急がれる。
- ②本地区は、東西4kmに延びる街村的特性から、車で来館するものが多いのが実情であるが、駐車スペースの確保が困難である。
- ③施設は老朽化が進んでいる上、トイレ・下足場・更衣室など劣悪（他地区体育館に比べて甚だ劣っている）である。外への出入り口とつないで小さな別棟を建てるなど、配慮があつて良いのでは。

<担当部局の所見等>

【都市整備部】

松保地区体育館周辺の改善については、布勢運動公園の管理者である鳥取県に確認したのでお知らせします。

①歩道等側道からの侵入防止柵

第7駐車場脇の通路は、日本庭園へと続く園路の入口であり、フェンス等の設置は園路の機能を損なうため、対応は困難ですが、不審者対策は必要と考えることから、通路横の植栽を一部撤去し、見晴らしをよくすることができないか検討したいとのことです。

①-2道路駐車禁止標識の設置

駐車禁止の看板を設置する方向で検討したいとのことです。

【教育委員会】

①【防犯灯】

設置場所、管理体制などを確認したうえで設置を検討します。

【害虫防止網戸】

他の地区体育館での設置事例もなく、現在設置の予定はありません。

②【第7駐車場の開放時間の延長】

第7駐車場は、主として多目的広場利用者のための駐車場として整備したものであり、多目的広場の閉園時間以降の開放は、不審車両の侵入、車両の不法放置などにより駐車場管理の観点から好ましくないことから、時間の延長は困難とのことでした。

③昭和58年と早い時期に建設された松保地区体育館は、近年整備された地区体育館と比

較すれば若干狭く、老朽化も進んでいるものの、十分使用に耐えうる施設と考えています。

一方、トイレについては改善の余地があり、男性更衣室の多目的トイレへの改修を検討しましたが、汚水処理容量の増加による合併浄化槽への転換で多額の事業費を要することから実施に至っていません。当面は、隣接のコカコーラウエストスポーツパーク第7駐車場に設置されている公衆トイレの活用も含めてご協力をお願いします。

なお、汚水処理量の増加を伴わない現在の和式トイレ2個の洋式化については、早期の実現に向けて検討を進めます。

(都市整備部長)

フェンスの設置と駐車禁止看板について申し上げます。私どもの方でこの布勢運動公園の管理者である鳥取県に協議に行っていました。県の方からは、この日本庭園に入っていく園路の入口で、フェンスの設置は開け閉めの管理などが必要になりますので、機能を損なうため困難です。しかし、確かに園路の中に植栽や枝が入り込んでうっそうとした状況にあるということですので、不審者対策として、通路横の植栽を一部撤去して、見通しをよくするというところに取り組みたいという回答をいただいています。それから、駐車禁止看板については、設置する方向で対応したいという回答をいただきました。

(教育長)

まず、体育館周辺に防犯灯を付けてほしいということですが、これにつきましては設置場所や管理体制をどうするかということをお話し合っていて、設置の方向で考えていきたいと思っています。現地を見ましたところ、体育館の入口の壁面に付けるのがいいのかなんていうようなことも話しをしていますので、また具体的な話はこれから進めていきたいと思っています。それから、地区体育館の網戸につきましては、網戸を付けた地区体育館というのはまったくありません。網戸を設置する予定は現在していませんので、なんとか虫を払いながらも使っていただければと思います。

それから、トイレはなんとか来年度の



松保地区体育館周辺の改善について

① フェンスの設置



①-2 駐車禁止看板の設置



4

松保地区体育館周辺の改善について

③ 体育館トイレ



6

予算で洋式に変えます。

次は、体育館のこの第7駐車場を体育館利用のために開放してほしいということです。現在は、開放時間が9～19時になっています。県の担当である自然公園課と協議をしました。ここをなんとか遅い時間まで使わせてもらえないかということで、担当課と県との間では話をし、地元の方がそれでいこうということであればその方向に進みますし、もう少しこうやってもらえんかということであ

れば、またちょっと検討の余地もあるかと思います。県との話し合いでは、まず、ゲートの位置を変えると。この位置を変える費用は、市が持たないといけませんので、もしも皆さんがOKということであればそのようにします。このゲートにつきましては、平常おしまいの時間は10時15分までですが、次のようなことをしてもらえることが条件であるということ、県との話し合いでいただいております。

まず、松保地区の体育館の管理者、利用代表者は月ごとに松保地区の体育館の使用予定を県体協に出してくださいということが1つ。それから、もしもゲートの位置を変えた場合、体協は19時に施錠しますので、この施錠後、その第7駐車場の鍵の管理を松保の体育館に委ねますので、その後の駐車場の管理の責任は全面的に負ってください、その中で何が起きても県体協は責任を負わずに地域で持ってくださいということ。それから、鍵の貸し出し、この体育館の利用協定について松保地区の体育館の管理者と県体協の管理者で覚書を作った上でやりましょうと。

まとめて言いますと、まずゲートを移動する。それから、ここのゲートについてはこの松保の体育館の管理者で管理をする。それから、19時以降のここの責任については松保の体育館が持つと。それから、細かい取り決めについては県体協と松保の体育館とで協定書を交わしましょうと。こういう条件が整えば、このゲートの移動はOKですという答えをもらっていますので、こういう条件でまた皆さんからの条件も突き合わせながら、使いやすいようにしていきたいと思っています。

(地区会長)

かなり前向きに対応していただいておりますので、その方向で今のところは結構だと思います。ただ、この間高校生が蜂に刺されましたが、こういう森の中に体育館があるというところは、あまり沢山はないと思うんです。ここは非常に蜂の多いところでして、遠足でも先生方が一番心配するのがその蜂なんです。特に、秋はこの蜂が多く出てくるときで心配しています。網戸を全部つけると言いますが、なかなか大変だなという気もします。ですから、その蜂の巣が有る、無いを知らせながら対応しないといけんなあ。今度は農林の方にもお願いして、巣を早く取ってもらうというようなことで、臨もうと思います。一応納得しましたし、不審者対策も大変良いことを県の方と交渉いただいておりますので非常に安心したところです。今、茂みが出来ていて、あそこはもううっそうとしていますから



明るくしていただくと、なかなか不審者もやってこないと思いますので、よろしく願い
したいと思います。

7 市政の課題についての意見交換（フリートーク）

（地元意見）

湖山池の汽水化はいいことだと思いますが、せっかく水があるのに、湖山池はスポー
ツとかレジャーの面での活用がどちらかといったら少ないんじゃないかと。例えば、湖山
池を使ったカヌー、カヌーよりも簡単にできるボートみたいなもの、ペーロンみたいなも
のでいいんですけど、非常に景観的にもいいと思いますし、もっと一般の人がせっかくあ
る水を活用できるような面も活用の検討をされたらどうでしょうか。夏のいいときにお金
がかからない方向で、そういうことをぜひ検討して見ていただきたいと思います。

（教育長）

湖山池の活用は結構やっております、B&Gのセンターを中心に、ヨットとか、いろ
いろやっております。あそこに高校生、大学生が使うボート場のリギング場とか、いろん
な整備も鳥取市がかなりお金をかけてやっていますし、湖山池のその水面を、ヨットやボ
ート、カヌーなどで使うということで、毎年使用料を漁協に大体100万円払って使わせ
てくださいということもやっていますので、ますますこれから使っていこうと思っていま
す。

（地元意見）

確かに、B&Gを使っているのは僕も使っていますから知っています。そうじゃなくて、
もうちょっと広げる形で、例えば年に一遍やるとか、市民レベルの簡単なものというよ
うなことです。

（教育長）

米子市が行っておられる市民レガッタですね。ああいう話も出ては消え、出ては消えと
いうことで、ペーロン大会がやりたいからペーロンを買ってくれというような話も出てい
たりします。ペーロンを買えなんてなかなか難しいですし、実現可能なものから少しずつ
詰めていきたいと思っています。

（地元意見）

湖山池の利用で、実は松江にいるときに、松江市民レガッタを立ち上げた事務局の中の
1人なんですけど、今は1,500人来るぐらいの大きな大会になっています。僕も選手と
して湖山池での大会にも参加しましたが、鳥取に来て、これだけのものがあるのになんで
市民レガッタ的なものがないだろうかと不思議に思いました。鳥大のボート部なんかとも
話をしたら卒業生だけでやっているということですが、そんなんじゃないし鳥取市民レガ
ッタというものをなんとか立ちあげてほしいなど。

（教育長）

市民レガッタの件は、具体的に検討したいと思いますので、そのときには積極的な参加をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

(地元意見)

桂見台団地には、かつて美術館を作るときには美術館の道路から横に抜ける道ができるという話がありましたが、実は団地に入る道は1本だけで、行き止まりになっています。下にグルッと回って出る農道がありますが、災害のときにはそれが混雑してパニックになるという話です。市の方に要望にも挙げています。それについて、何らかの良い方法を検討していただければと思います。

(都市整備部長)

桂見台団地の代替出入道路の新設については、5月の連休明けに一度お答えを差し上げているところですが、ご存じない方のために申し上げますと、民間で開発された団地につきまして道路を整備していただき、そちらを市道認定しているものです。こちら、斜面の多いところですので、要望箇所の道路を新設するためには山林農地などに切り込んでいくことになりまして、斜面を切ると補強対策に多大な費用がかかるため、早急な整備は現段階では実施困難です。ですので、今の道路の安全性を確保するという方向で検討に向かわせていただきたいというのが、今、市役所の立場です。

(地元意見)

汽水湖の問題では頑張っていたいただいて、かなり状況としては喜んでいいるという現実がありますが、公共下水の問題は一向に進まないように私なりには聞いてはいます。しかし、1年送り、1年送りで言い出してから来年出来ます、来年出来ますで、平成18年のものを持って来ていますが、ずっと同じようなことが繰り返してあると。何とか、そういうこともひっくるめて湖山池の浄化を力強く進めていただきたいと思っていますところでは。

もう1つは、文教都市の湖山、それから布勢運動公園、併せて鳥取市ではスポーツ及び湖山池のその観光化もひっくるめて、非常に人が集まる地域になりました。ましてや、来年の緑化フェアという最大イベントを控えていまして、私としては市長を初め、皆さんがこの松保地域に何を求めているのか、はっきりと、この地区をどんな形で行政としてはしっかり支えていってやろうというような声が聞こえないような気がしています。緑化フェアというこの最大イベントを後世に残すようにするのか、または布勢運動公園の駐車場が非常に使いづらいという声がたくさん挙がっています。この辺もひっくるめて、この松保地域に力強い行政主導でこうやってやるんだという言葉をお願いしたいなと思っている次第です。

(竹内市長)

地域の皆さんから、何を求めているかという問題提起がされるというのは、ある意味で地域をこれからどうしていこうかという気持ちがあつてのことだと思います。鳥取市として、この布勢の地域について言いますと、先程、文教地区というような言い方の表現もされました。スポーツなどについて、県が主導して布勢の運動公園ができたり、また出合い

の森というような形で、自然を活かしたこの公園づくりがされたり、ごく最近の話では現在取りかかっている弓道場も、運動施設の新たな追加になると思います。こうしたことで、この地域が交通条件も整ってきて、多くの方が活動する湖山の大学や高等学校などと併せて、スポーツを含めて確かに文教的な地域というのがあると思います。ただ、もう1つは、環境をよくするということですね。湖山池もそうですし、住宅の団地なり、住宅地としてもどんどん増えてきていますので、この生活環境を整えて、住宅が整備されるような場所になっていくことも念頭にあります。そういう意味で長年の懸案事項であった湖山池の水質問題や、最近特に酷かったヒシとかアオコの問題を、汽水湖化を中心に据えながら解決していくということに踏み切っているところです。

国体道路という形で布勢の運動公園に来る道路が整備されましたが、その後、湖畔の道路も地方主要道路の県道で吉岡の方面に向けていろいろ整備が進んでいます。空港インターが整備され、その後、西に向けて山陰道として吉岡インターに至るような基幹的な道路の整備も、高速道路の整備も進んでおり、交通の非常に厳しい状況は、かなり改善されると思います。全体的にこの地域については、そういう千代川左岸の文教的な、あるいは住居系的な地域として、今回も都市緑化フェアで整備されたお花畑ゾーンの公園は、お花畑ゾーンと言いながら、少し芝生が植えてあるだけというようなところから本格的な公園化が図れて、公園という言葉に相応しいような公園ができます。そうすると、湖山池の水質の改善とか、あるいは湖山池湖畔の全体的な美しい景観、あるいは夕日が綺麗といったようなことがクローズアップされてくると思います。

どういう地域にと一言ではなかなか言い切れませんが、どちらかという千代川から東側に市街地がかなりあって、西側にある湖山や松保といったこの湖山池の東側の地域は、元々は農業も盛んな地域であったと思いますし、今も農地もありますが、どちらかというところの自然環境豊かな中で、潤いのある生活ができると。水と緑のゾーンということで、この優れた生活環境や交通条件に恵まれながら生活できる場所というような位置付けであろうと思います。その点で、下水道は、本来もっともっと早く整備されるべきものだと私も思っていますが、下水道整備の全体の段取りから見ると、松保地区は近隣の地域に比べて一番遅れているような状況にあります。そういったことでお叱りも受けていますが、計画的な整備を段階的にやっているという状況です。その辺は大変申し訳なく感じています。

(環境下水道部長)

山王団地の進捗は遅れているというようなご指摘がありました。これにつきましては、年度当初で言いますが、1月にまず区長会長会で予算についてのご説明をさせていただいて、仕事の段取りがつかましたら、順次工事説明会を開催するというような運びになっています。事業の予算の方が国の補助も含めて、非常に厳しい査定等の中でやっています。今、湖山地区、特にこの布勢街道の方に力を入れているのも事実ですが、やはり予算の方が若干厳しいところはあって、なかなかついていけないところがあります。今、山王団地を含め湖山周辺には力を入れていますし、近々工事説明には上がらせていただきたいと思いますので、何とぞご協力よろしくお願いたします。

(地元意見)

山王団地の方も大変困っておられるということもありますが、1月23日にいただいた資料は生きていますか、変わるんですか。率直な答弁をお願いします。

(環境下水道部長)

生きています。一部いろいろ諸条件がありまして、工事の施工場所の変更はありますが、これは生きています。

(地元意見)

ということは、24年度の赤い線は24年度に施工するということで間違いはないですね。今日はそれを確認に来ました。

(環境下水道部長)

はい。一部山王団地のところが若干変わりますが、あとは生きています。

(地元意見)

庁舎新設問題について質問させていただきます。市民は住民投票で、1号案の新築ではなく2号案の改修を選択しました。その後、特別委員会が設置されて、耐震改修に向けて議論が進んでいるようなのですが、最初に新築だったら74億円、耐震改修だったら20億8千万円という数字が出てしまいました。本来ならば市長が以前から言われたように2核2軸を核とした新しい鳥取市を作っていくんだと、私はその考えで非常に感動しましたが、今の特別委員会のやり取りというのは、その20億8千万円が妥当かどうかという議論に終始しています。どうもぴょんぴょんネットなんかを見ていると、ある会派の人がある特定の建築業者に頼んで出てきた数字ですので、その20億8千万円というのは積みに積み重ねた数字ではないと思います。それで、今後の運営について、あまり20億8千万円ということが表に出ますと、本来ならこうしたい、ああしたいというような改修工事なり、あるいは第2庁舎の新築なりが、金額に拘束されて本当に良いものが出来なくなるのではないかと危惧しています。

テレビを見ているもなかなか議事が進みませんし、後戻りしたり立ち往生したり、本当に何をやっているんだというふうに私は思います。むしろ鳥取市の行政部門が主導となって、合併特例債もまだ延長されましたので、もう一度、本当に鳥取市のためにはどういう方法がいいのかということを含めて、あまり20億8千万円に捉われないように進めていただきたいと思います。

(竹内市長)

ご指摘のご意見は、多くの市民の皆さんからも聞いていまして、現在の議会の庁舎特別委員会のはかばかしく進まない現状はいかがなものかというような意見は聞いています。とにかく耐震改修をしていこうという案の下で検討が進められていますが、議会の中でもいろいろ疑問点や、これを解明しなければならないという議論がある限りは、執行部がどんな意見を出してもまた議会に諮らなきゃいけませんから、ここは議会としてしっかり詰めてもらった上で、どういう内容のものを整備すべきかは、議会の皆さんも市民の皆さん

の声を聞いたり、意識したりしながらまとめられると思います。議会が提案者であったわけですから、この代替案は、議会として意見をまとめ、詰めをしてもらった上で、執行部としてはそれを踏まえて事業に取りかかるということを経験的な段取りで考えているという点をまず申し上げておきたいと思います。

一方で、5月20日の住民投票から3カ月ぐらい経っていますが、住民投票時点ではまだはっきりしていなかった、例えば埋蔵文化財の調査や地質の調査といった新しい調査を今実施中です。これらの結果も踏まえて、また現在の案についてどのような内容のものとして、どれぐらいの費用が掛かるのか、あるいは掛けるのか、このあたりの全体的な案をある程度整理して、市民の皆さんにもう一度ご覧いただかなきゃいけないんじゃないかと私は思っています。議会に対しても、できるだけ早く検討を進めてほしいということは再三申し上げて来ているところです。ただ、議会でいろんな異なる意見の方がいるのは、これは常ですから、議会は議会なりに検討を進めていると私は思っています。9月議会がまもなく始まりますので、議員の皆さんの中でもいろんな立場の意見が出てくると思います。この庁舎の問題はほっとけない問題です。耐震性に弱い庁舎を今抱えている状態で、防災対策の大きな拠点となり、市民生活を支えるためのいろんな行政を担っている施設ですから、簡単に壊れてしまって機能が停止してしまったというようなことでは、まさに無責任だと私は思っています。執行部も議会とのやりとりなどを通じて、議会にも私の認識の下にいろんな意見も述べて行きたいと思っています。

市民の皆さんのいろんな思いも、私もいろんな機会に伺っていますし、これからも、この問題は継続しています。鳥取市の将来も考えてこうすべきではないかというようなご意見をいただくことを、私は心から歓迎をしたいと思います。住民投票のあとに合併特例債が、5年間延長されました。方向性が出たというものの、具体的な内容が固まっていない状況がありますので、より良い内容になるように検討を続けていきたいと思っています。

(地元意見)

簡潔に言います。地震はいつ来るか分かりません。のんびりと議論をしている時間も、おのずから限度があります。20億8千万円というのは金科玉条ではないと思っていますので、本当に良い改修工事をしていただきたいと要望して終わります。

(竹内市長)

金額で選ばれた人もあろうかと思いますが、金額よりも内容でと言いますか、まちづくりや何かを含めていろいろおありだと思います。いずれにしても20億8千万円という数字にこだわる、こだわらないというよりは、それが住民投票のときの1つの具体的な提示の内容になっていますので、そこをしっかりとらせないで事業を進めることはできません。ここは1つの大きなポイントで、議会としてもきっちりそこは検証していただいて、今の段階では庁舎特別委員会として、これだけのことをするにはこれぐらいは掛かるということは、はっきり客観的な数字をできるだけ出してもらって、それで進めてもらわないと、それは話が違わないかという声が出てくるのでは困ります。そこをしっかりと確認してもらおうと共に、もう一度市民の皆さんによく理解してもらって、これで本当に良いですかみたいなことが必要なのではないかと思っています。

(地元意見)

東里仁と西里仁で避難場所という観点から、あるいは災害時の一時駐車場としての貸与という観点から、実はイナバ自動車学校と防災の覚書と言いますか、協定の検討に入っている段階です。我々のハザードマップでは、避難場所として世紀小学校と松保の保育園がありますが、そこでは非常に遠い。しかもその近くにそういう広い施設がある。こういう観点から、検討に入っています。東日本大震災の陸前高田市に行ったときに、自動車学校そのものが、避難場所として使われていたということ参考をされて、我々東里仁の方に、イナバ自動車学校の方から提案があったということです。

それで、イナバ自動車学校では非常に広い面積を有していて、例えば陸上自衛隊が来たときに駐車場に使用するだとか、あるいはライフラインも、非常にしっかりしたものを持っておられて、今でもベッド数が150確保できているという話があります。厨房でも四百数十名に対応するような施設もある。こういう観点から積極的に取組んで、地元の住民も何とか早く提携しようということで進んでいます。

それで、一つイナバ自動車学校からの提案です。地元との協定はいいけれども、鳥取市全体の問題として、ああいう何h aもあるような施設を、防災時有効利用する手立てはないのかという逆提案がありまして、せっかく執行部がおいでなので、その辺を聞いてみたいと思って質問をさせていただきます。

(防災調整監)

イナバ自動車学校での避難対応ということで、地元の方と自動車学校で具体的にお話を進めておられて、大変これはいいことだと思って聞かせていただきました。市としてこういった施設、他にも広大な面積がある施設をどのようにこれから活用していくのかということだと思います。今回のイナバ自動車学校のような話は、他に具体的には聞いていませんが、自動車学校はここだけではありませんし、民営のそういった広い敷地を持った、あるいは設備を持たれたところというのはあるかと思っています。その辺は広い視野を持って、進められるお話があれば進めていきたいと思っています。

ちなみに、今現在、民間の施設と協定を結んで利用させていただいているのが、行徳のトスク本店、それからイオンの駐車場で、こちらを使わせていただくようにしています。気高町の気高中学校の上にある小林学園という専門学校の社会福祉学校があって、こういったところと協定を結んでいるところですが、そういった意向を示していただいて協定が結ばれるというところについては、これからも増やしていきたいと考えています。

8 市長あいさつ

長時間にわたりまして、皆さんありがとうございました。貴重な時間を割いてお越しいただきました。まだまだご意見がきつとおありだったと思います。市長への手紙という制度もありますので、ぜひお寄せをいただきたいと思います。できる限り我々内部で議論し、担当課とも協議して、担当課の責任の所在も明らかにした上で、私からの回答をさせていただきます。出された意見を私が直接拝見して、いろいろ担当課に注文も出しているような状況です。下水道のように遅れているじゃないかと、一歩ずつ前に行ってるのかと

お叱りを受ける部分もあるのは申し訳なく思います。一步ずつ前に進めていくというのが、この鳥取市としての取組みとしてはやむを得ないところもあろうと思います。しかし、地域の皆さんが力を合わせて地域なりに進めておられることに、あるいは期待しておられることにお応えしていこうとして努力をしているところですので、その点も一方でご理解いただければと思います。

湖山池については、シジミも増えてきて、少し夢が生まれてきていると思います。シジミはもっと塩分が薄いときは死んでいたとか、どうも繁殖ができなかったようですが、今の塩分濃度は、大体東郷池と同じぐらいで設定している関係もあって、この間撒いたシジミも繁殖しているということです。ただ、そのシジミを普通にバラバラと砂地の上に撒くと、魚に食べられたりすることもあるらしくて、籠に入れて、今、籠の鳥のような状態でシジミの生息状況を観察しているようです。これからいろんな楽しい夢のある話が湖山池から出てくるとは思いますが、何と言ってもこの松保の皆さま始め、湖山池周辺にお住まいの皆さんが一番関心を持たれ、一番楽しみにしておられると思います。今日はレガッタの話もありました。こういった大会ができるような状況も必ず来ると私は思っていますし、最近釣りは釣りをやる人も増えてきたようですね。おそらく、だいぶん湖の中が豊かになってきているんだと思います。

最近の少雨の日照りと高温の関係がちょっと悪い影響があるようですが、そういった気象条件も、これから秋が深まるにつれて変わってこようと思います。ぜひ、この春から始めている汽水湖化の取組みが、一年四季を通じてどういう変化をもたらすのか、そして来年はどうなっていくのか。こうしたことをお互いに見つめながら、この地域がより住みやすい、そしていろんな条件の整った、防災についても安心安全な、交通状況も道路が改善されて安全になるようなことも見込まれている状況です。ぜひともこれからも松保のために、今日お越しの皆さんにはぜひ力を出していただきたいと思っておりますし、お越しでない方のご協力やご支援も、これからもぜひ地域の中でも盛り上げていっていただきたいとお願いする次第です。鳥取市としてもできる限り頑張りますので、今後ともよろしくお願いたします。今日はありがとうございました。